

注意事項

※募集する奨学生は、下記出願条件と人物・学業ともに優れかつ健康であって経済的理由により修学が困難とみとめられる者が対象となります。なお、特に記載がない場合は、日本人学生対象です。

※各奨学会の希望者の中から、家計収入や成績により内部選考を行い推薦者を決定します。

※下記の奨学会を希望する者は、「公益法人奨学会願書（内部選考用）」（父母及び本人（本人に所得がある場合）の所得関係証明書と成績証明書を添付）と「希望奨学会申込票」を締切日までに学生部生活支援課奨学チームに提出してください。

※出願に必要な書類は充分にご確認の上提出してください。

※一度提出した書類は返却できませんのでご承知ください。

内部選考を行う公益法人奨学会募集について（第1回）

申込締切日：4月10日（火）

願書配付及び申込受付：学生部生活支援課奨学チーム

| 奨学会名 | 出願条件等 | 他奨学会との重複 | 奨学金額 | | 推薦人数 |
|------------------------|--|----------|------|---------|------|
| 日新製糖奨学 育英基金 | <p>学部：東京都内に居住し、学業・人物ともに優秀かつ健康であって、経済的事情により修学の継続が困難と認められる工学部3・4年生（学年は2007年4月1日現在）。</p> <p>※奨学会への申請時、指導教員による推薦理由の記入が必要です。</p> <p>※奨学生に決定した場合「贈呈式」、「生活指導・激励のための懇親会（7月上旬）」等に出席していただきます。</p> <p>給与期間：正規の最短修業年限まで</p> | 可 | 給与 | 30000円 | 1 |
| 松尾金藏記念 奨学基金 | <p>大学院：大学院において教育学、心理学、社会学を学ぶ教育学研究科修士課程1年次で以下のすべての項目に該当する者（学年は2007年4月1日現在）。</p> <p>(1) 就学上奨学金の援助を必要とする者（家計支持者の前年度年収又は本年度の見込みが800万円以下とする）</p> <p>(2) 品行方正、健康で学業成績が優秀な者</p> <p>(3) 年齢が2007年4月1日現在30歳以下の者</p> <p>給与期間：正規の最短修業年限まで</p> | 不可 | 給与 | 年額100万円 | 1 |

| | | | | | |
|--------------|---|--------------------------|----|---|---|
| 日本証券奨学財団 | <p>大学院：学資の援助を必要とし、学業優秀、健康で明朗かつ積極性がある法学政治学研究科、経済学研究科、公共政策学の修士1年、博士1年入学者</p> <p>(1)品行方正、健康で学業成績が優秀な者 (2)真に学資の援助が必要な者(家計収入が給与世帯で年1000万円以下、給与世帯以外年500万円以下とする) (3)修士課程1年次在学者は25歳以下、博士課程1年次在学者は28歳以下であること (4)財団の各種行事に必ず出席できる者</p> <p>※候補者の選考に際し、財団が面接を行います。 給与期間：正規の最短修業年限まで</p> | 不可 日本学生 支援機構 は可 | 給与 | <p>修士 自宅 40,000円 自宅外50,000円</p> <p>博士 自宅 45,000円 自宅外55,000円</p> | 1 |
| 三菱信託山室記念奨学財団 | <p>大学院：新領域創成科学研究科の修士1年、博士1年生で以下のすべての項目に該当する者(学年は2007年4月1日現在)</p> <p>(1)健康で、学業・人物とも優れている者 (2)将来、民間企業・官公庁・学校等に勤務して、産業・文化面で活動し社会に貢献しようとする者、またはこれらの活動に関連する学術の研究を志す者 (3)学費の支弁が困難と認められる者 (4)2007年4月1日現在満33歳以下の者</p> <p>給与期間：正規の最短修業年限まで</p> | 可 | 給与 | 50000円 | 1 |
| 山岡育英会 | <p>大学院：農学生命科学研究科修士1年で以下の全ての条件に該当する者(学年は2007年4月1日現在)</p> <p>(1)学部時代に学問・研究に意欲的に取り組み、優れた成績を残している者 (2)将来社会に何らかの貢献が期待できる優れた人格と資質を持っている者 (3)研究生生活を維持する上で、経済的な助成が必要と認められる者</p> <p>※候補者の選考に際し、財団が面接を行います。 ※奨学生採用証書授与式を6月下旬に開催予定 給与期間：正規の最短修業年限まで(平成19年4月分から2年間)</p> | 可 | 給与 | 60000円 | 1 |
| 廣瀬育英会 | <p>大学院：富山県下の高校を卒業し、人物・学力ともに優れ、かつ健康であり、奨学金の貸与が必要であると認められる大学院入学者(学年は2007年4月1日現在)</p> <p>貸与期間：正規の最短修業年限まで</p> | 可 | 貸与 | 40000円 | — |